

生徒指導だより

防府市立中関小学校

2024.4.17

第 1 号

新しい学年がスタートして一週間が経ちました。新しい学級、新しい友達に緊張していた子どもたちでしたが、少しずつ慣れてきて、笑顔で友達と関わったり学習したりする様子がたくさん見られます。

4月のスタートを切るにあたり、落ち着いた学校生活をつくるために、始業式の日全校児童に向けて話したことが3つあります。

1. 基本的な生活リズムを整える
2. ものを大切にする
3. ルールや約束を守る

学校では、学級開きの時期に取り組むことの1つに、靴箱の使い方があります。みんなが使う昇降口なので、いつもきれいに使えるようになってほしいと願っています。

写真のように、6年生はさすがです。いち早くかかところがそろい、きれいにそろえられるようになりました。そして、驚くべきは1年生です。教えてもらって間もないのですが、きれいにそろえられています。朝、登校したら靴をそろえて、落ち着いて1日の学校生活を始められるといいですね。



さて、先日の入学式の時に見かけた、ある保護者の方の行動をご紹介します。

入学式のために昇降口から上がろうとされていたお父さんが、靴をぬいで靴箱の上に置かれた時のことです。靴をもう一度手に取って、靴に付いた泥を落としてから靴箱の上に置き直されました。

少し難しい言葉になりますが、「**自己指導力**」という言葉があります。分かりにくい言葉ですが、生徒指導をとおして子どもたちに身に付けてほしい力です。「**その時、その場でどのような行動が適切であるか自分で考え、決めて、行動する力**」のことです。入学式の時に見かけた、お父さんの行動を見て、この言葉を思い出しました。とても頼もしく、うれしくもありました。

早寝早起きを心がけたり、学習道具を丁寧にあつかったり、名札を付けて学校生活を送ったり、学校生活で身に付けたいことは他にもたくさんあります。当たり前のことが多いのですが、自然にできるまで身に付けるには時間がかかるものです。一度には身に付かないので、小学生の内に一つ一つ身に付けながら成長して行ってほしいと思います。ご家庭でも、同様に意識していただけるよう、お願いします。

いじめのない中関小をめざして

4月の生活目標

「物をきれいにそろえて置こう。」

物をそろえて、きれいな教室をつくる

教室の中の本や机が乱れると、子どもたちは落ち着かなくなったり、規範意識が低くなったりして、いじめが起こりやすくなります。一見、関係ないようですが、物をそろえて置くことはいじめの未然防止につながります。



いじめを早期発見する

毎週「生活アンケート」をします。先生に直接言うことは難しい子どもがSOSのサインを出しやすくするために、毎週「生活アンケート」をします。

せいかつアンケート（ 月 日）

せいかつアンケート		年		組		番		名前	
1-	だうこうはたのしいですか。☺	とてもたのしい	すこしたのしい	あまりたのしくない	たのしくない	ない			
2-	こまっていることや、なやんでいることがありますか。☺	ある☺		ない					
3-	あなたのまわりで、いじめなどいやなおもいをしている人はいませんか。☺	はい	いいえ	わからない					
4-	せんせいにはなしたいことがあるかもしれませんが。☺								

家庭と連携して 早期発見、早期対応をする

小学生の段階では、先生や友達より家の人に相談しやすい子どもも少なくありません。お家で子どもから友達関係で悩んでいること、不安なこと等聞かれましたら、学校の方にもお知らせください。